



10月に入り、朝晩はかなり涼しくなりました。一方で、昼間は暑い日もありますので、毎日の体調管理には十分に気をつけながら、修学旅行や学校祭に向けた準備に取り組んでいます。

また、秋は台風が多い季節でもあります。本校では、第2回避難訓練は「水害を想定した訓練」を実施しました。感染症対策のために一斉避難はしませんでしたでしたが、その様子をお知らせいたします。

第2回避難訓練（9月27日） 最初に放送での全体指導を行い、

「水害の恐ろしさ」と「垂直避難」について校長と防災係から話をしました。



小学部1年生

全体指導の後、学級ごとに実際に避難したり、映像を使って確認したりしました。



中学部

いわき支援学校は、浸水被害区域に指定されています。万が一、学校にいる時に、大雨で夏井川が危険水位に達した場合等には、指定された2階の教室に「垂直避難」することになっています。

2019年（令和元年）10月の台風第19号でいわき市でも大きな浸水被害を受けたことを映像等で確認しました。

その台風の時は、短期間でたくさんの雨が降ったことや、いわき市ではどのくらいの水位になったのか等、ものさしを使って説明を聞き具体的に学びました。



高等部の各学級での指導の様子から

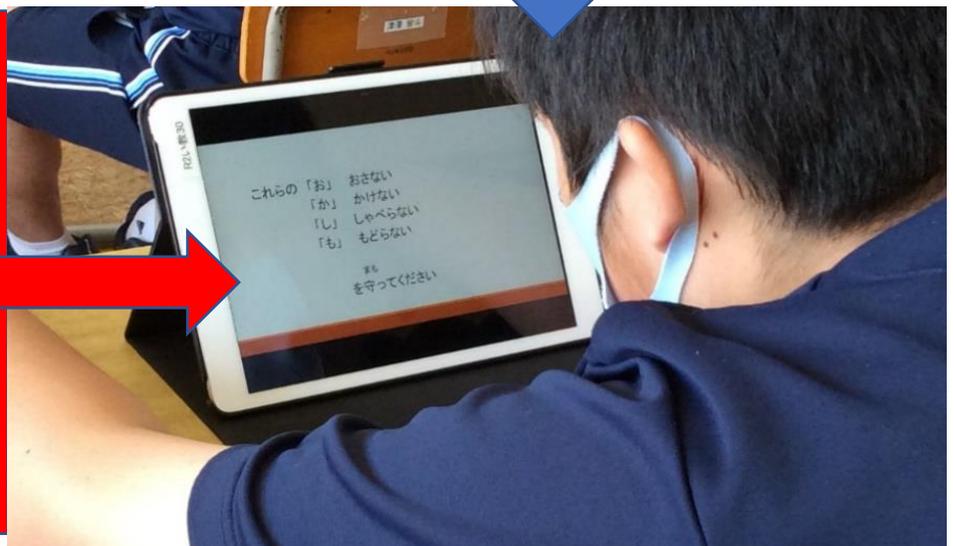


どの学級でも、水害に関する映像を見ながら、その恐ろしさを学んでいました。

また、災害から自分の命を守るためにはどのように行動したら良いかについて、担任の話を真剣に聞き、自分の考えをしっかりと話すことができていました。



高等部1年生は、担任の話を聞きながら自分のタブレット端末を操作し、映像で確かめていました。最後に避難の時に大事な『お・か・し・も』を確認していました。



自然災害はおきてほしくはありませんが、いざという時には避難訓練を生かして行動しましょう。